

# 千葉 市川市議会で前代未聞の珍事

16日に開かれた千葉市川市議会の定例会で前代未聞の珍事が起きた。あろうことか、進行役の岩井清郎議長（68）が採決を「バックした」というのだ。それどころか、副議長の松永鉄兵氏（同下）まで姿を現さず。正副議長2人とも、アノ号泣県議と同じく、政務活動費の不正支出を疑われてい

確認した象になっている市議や議長になったのはこの3年ば、バックする必要はない。岩井議長を直撃したところ、長にさえぎられてしまっただけです。元県議の現職市議がやり方を広めたよら。切手を大量購入していた市議が少の設置を要求する動議を提出。その採決をするはずだった16日の定例会に、正副議長が姿を見せなかつたのです。流会になつた調査費の名目で、1万5000枚の切手を買つています。「80年の歴史を守つたん理由を問うです。意味がよく分からぬ？ 分からなくていいんです。（切手購入については）報告書に書いてある通り」

# 正副議長がバックした！



定例会は16日が最終日らうより、自分で貼つた方々が気持ちよく返つてきた。追及も難しくなってきた。ムチャクチャな話じゃないか。切手を大量購入するよやましいことがなければ市民の皆さん！

アノ号泣県議と同じ疑惑が…

議と同じく、政務活動費の不正支出を疑われてい

「切手を大量購入するよやましいことがなければ市民の皆さん！」

「切手を大量購入するよやましいことがなければ市民の皆さん！」